

# 富士

January  
2026

1

[第657号]

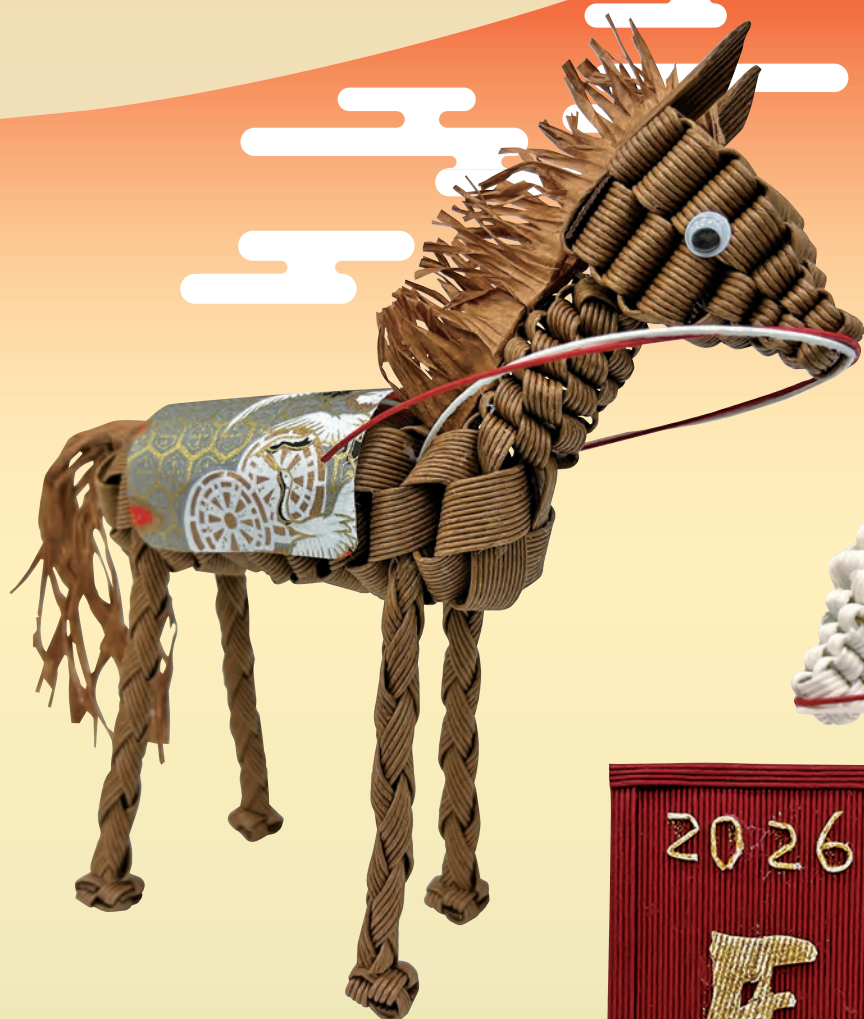


## Contents

- 2 新年のご挨拶      6 新年紙上名刺交換
- 10 2026年 景気予測アンケート 調査結果
- 14 「ふじのまち得ゼミナール」を開催

## Regular contents

- 11 活動レポート      15 各種お知らせ
- 17 経営支援情報      20 新入会員紹介
- 21 共済通信      22 商店街情報



謹賀新年





## 新年のご挨拶

富士商工会議所会頭

浅見 祐司

新年あけましておめでとうございます。  
令和8年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

さて、昨年は、世界の政治・経済情勢が混沌とし、不確実性と分断が一層進んだ年となりました。特に、米国の政権が導入した「トランプ関税」は、世界の貿易ルールを一変させ、輸出入に依存する日本企業にも大きな影響を及ぼしました。国内経済は、デフレ経済から脱却し、賃金と物価の好循環の兆しが見えつつあるものの、急激な物価高により実質賃金の低下に伴う個人消費の低迷や企業収益の悪化を招いています。

また、加速化する人口減少や高齢化、財政健全化や社会保障制度の維持といった従来からの構造的な課題に加え、特に、中小企業においては、持続的な賃上げや利益確保のための適正な価格転嫁や人手不足への対応、事業承継などの待ったなしの問題も山積しております。

## 稼ぐ力の強化のため 自己変革を支援

昨年の秋に誕生した高市政権は、「力強い日本経済」を取り戻すとして積極的な財政政策を掲げており、早々に政策の実施と豊かさを実感できる社会の実現を期待したいと存じます。

富士商工会議所といたしましても、企業が持続的な発展を遂げるために必要な賃上げや成長投資の原資となる「稼ぐ力の強化」を図るため、DX・GXの推進や経営革新などの自己変革への挑戦を、引き続き、伴走型で支援してまいりたいと存じます。

喫緊の課題である人材不足に関しては、行政や教育機関との連携を強化しつつ、若年者やその親の世代に地元企業の魅力を知ってもらう機会を増やしつつ、定着に向けた支援を実施してまいります。

地域においては、昨年からJR富士駅北口周辺の施設の解体工事が始まり、新富士駅南口においても区画整理後を



謹

賀

新

年



見据えたまちづくりの協議がスタートしました。いずれも富士市の顔として、市民が愛着と誇りを持てる新たな街の誕生に期待が膨らんでいます。

地域の持続的な発展には、良質な雇用を生み出す産業とそこで暮らし、働く人の存在が欠かせません。進学や就職を機に地域を離れた若者や女性が、再び戻りたくなくなるような産業支援とまちづくりに取り組んでまいります。

当所では、昨年の役員議員の改選において正副会頭5名全員が再任されました。本年も引き続き、会員の皆様の声を丁寧に取り上げ、行政や関係諸機関との連携を一層強め、中小企業と地域の持続的な発展を支えるための諸事業を実施してまいります。

結びに、本年は午年です。勢いよく駆ける馬のごとく、地域の経済が力強く前に進む一年となりますようご祈念申し上げます。



## 新年のご挨拶

日本商工会議所会頭

小林 健

明けましておめでとうございます。  
2026年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

### 【成長の果実を賃金や投資へ】

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが見えつつありますが、依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたり染み付いたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生

し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳との会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてこられました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船、量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

### 【成長型経済への転換を確固たるものに「変革」と「価値共創」】

わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99・7%、雇用の約7割（3大都市圏を除くと約9割）を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確

## 変革と価値共創による日本経済の再出発

固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶えず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

### 「変革と価値共創による日本経済の再出発」に向けた三つの重点課題」

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのためには、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー・安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持続可能な全世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中

小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出、DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを心より期待いたします。

### 【「現場主義・双方向主義」の発展】

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



## 新年のご挨拶

富士市長  
小長井 義正

明けましておめでとうございます。  
富士商工会議所会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より本市の市政運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。  
さて、本市では、現在、「富士山とともに輝く未来を拓くまちふじ」を目指す都市像とする第六次富士市総合計画に基づく様々な施策を推進しております。

喫緊の課題である少子化対策や、地方創生に向けた取組、デジタル変革やSDGs未来都市、ゼロカーボンシティなどの未来を拓く取組、さらには、近年激甚化・頻発化する自然災害に対する防災対策や危機管理、救急医療・地域医療の充実など、市民の皆様との安全と安心を守り、希望と幸せを実感できる富士市の実現に向けて注力しているところであります。

中でも「活力を創り高めるまち」を実現するため、地場産業である紙・パルプ産業に対する支援はもちろんのこと、植物由来の新素材CNFの更なる普及拡大や社会実装の促進、新たな工業団地の整備のほか、商店街を中心としたまちなかのにぎわい創出など、様々な産業振興施策を展開しております。

昇や社会保険加入対象者の拡大により、大きなコスト増に直面していると認識しております。生産年齢人口の減少による構造的な人手不足の解消は難しく、企業経営者の事業承継問題など課題が山積する中、次代を拓き歩を進めるためには、テクノロジーの活用による生産性向上や、地域全体でのイノベーション促進など様々な取組の必要性があります。私たち富士市議会といたしましても、地域経済のさらなる発展と課題の解決を目指し、一層の努力を傾注してまいります。

富士市議会では、「市民のために存在する議会」という理念のもと、平成23年に「富士市議会基本条例」を制定し、活発な議論と開かれた議会運営を進めてまいりました。今後も市民の皆様と議会活動を広く、分かりやすく伝える努力を継続し、持続的で豊かなまちづくりの実現に寄与してまいります。

また、救急医療体制の充実を図り、市民が安心して暮らすことのできる社会の実現に向けて、(仮称)富士市の救急医療を守り抜く条例案の検討を進めているところでもあります。医療・福祉・産業などの社会活動を持続させていくためには、市民の皆様との協力が不可欠となります。富士市議会議員一同、皆様と共に考え、真摯に課題に向き合い尽力してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、富士商工会議所会員の皆様にとりまして、本年が明るく希望に満ちた素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



昨年4月に総合運動公園内にオープンした、富士市総合体育館「北里アリーナ富士」は、これまでの取組における大きな成果の1つであると言えます。

オープン以来、バスケットボールBリーグ及びバレーボールSVリーグなどのプロスポーツやフットサル日本代表の試合をはじめ、様々なスポーツ大会や各種イベントが開催されました。多くの方にお越しいただいております、本市の新たな交流拠点となっております。

また、富士駅北口の再整備や新富士駅南口の土地地区画整理事業、新病院の建設等の大型プロジェクトも着々と進行しております。

今後、新市長のリーダーシップのもと、各種事業が着実に遂行され、富士市がますます発展していくことを心より願っております。

結びに、富士商工会議所会員の皆様にとりまして、今年1年がすばらしい年になりますよう祈念申し上げます、年頭のあいさつとさせていただきます。



## 新年のご挨拶

静岡県知事  
鈴木 康友

皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年は、9月に発生した台風第15号により、中・西部地域を中心に甚大な被害を受けました。被災された皆さまには衷心よりお見舞い申し上げます。

私は就任以来、「幸福度日本一」の静岡県「県」を目指す姿に掲げ、県民の皆さま一人一人の幸福実感を重視する「ウェルビーイング」の視点を県政運営に取り入れ、さまざまな施策をスピード感を持って推進してまいりました。

行政運営におきましては、時代の変化に対応すべく「LGX(ローカル・ガバメント・トランスフォーメーション)」を進め、組織全体の意思決定にスピード感を持たせ、より質の高い県民サービスを提供できるよう努めております。

また、将来世代に負担を先送りしないよう、財政の健全化にも引き続き取り組み、持続可能な県政運営を実現するとともに、県民の安全安心や、未来に向けた必要な投資はしっかりと確保していきます。経済面では、新たな成長の芽を育むため、国内外からスタートアップを誘致し、既存企業との連携を促すことで本県の経済を一層活性化させ、飛躍・発展に向けて取組を進めます。



## 新年のご挨拶

富士市議会議長  
笠井 浩

明けましておめでとうございます。  
富士商工会議所会員の皆様には、澄み渡る富士の峰のように清々しいお気持ちで新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、9月に台風による大雨や竜巻等により牧之原市をはじめとする県内各地で甚大な被害が発生し、地域のつながりや防災力のさらなる強化の必要性を改めて痛感した年でありました。政治に目を向けますと、国内では日本初の女性総理大臣が誕生し、新しい時代の息吹が感じられました。しかし、国際情勢は政治経済の両面で不安定な状況が続き、日本経済にも大きな影響が及んでおります。ロシアによるウクライナ侵攻も依然として終結の兆しが見えず、中東情勢も緊迫した状況が続いています。私たち日本人は、平和の尊さを改めて胸に刻み、戦争のない世界の実現を心から願うばかりです。

さて、地域経済を支える中小企業におかれましては、原材料費やエネルギー価格の高騰に加え、最低賃金の大幅な上

さらに、本県が世界に誇るお茶をはじめとする地域産業の振興にも力を入れるほか、空飛ぶクルマのような先進的な事業についても先頭に立って取り組んでまいります。

リニア中央新幹線につきましては、リニア中央新幹線の整備と大井川の水資源及び南アルプスの自然環境の保全の両立を図るため、引き続き、残された課題の解決に向けて、JＲ東海との対話を丁寧に進めてまいります。

そして、何よりも忘れてはならないのが防災対策です。特に懸念される南海トラフ地震には、万全の備えが必要となります。我々公共がさまざまな形で支援する「公助」に加え、県民の皆さま一人一人が「自助」「共助」の意識を高め、地域全体で災害に強いまちづくりを進めることも大切です。県民の皆さまが安心して暮らせるよう、全力で取り組みます。

ウェルビーイング指標を用いた県民幸福度調査により、県民の皆さまの幸福実感の現状を把握し、強みはより強く、弱みはしっかりと補強して、より一層幸福実感を高めるための取組を、さらに加速してまいります。県民の皆さまには、引き続き御理解と御支援をお願い申し上げます。

本年2026年は、静岡県が誕生して150年となる節目を迎えます。県民の皆さまが、郷土である静岡県を誇りに思い、笑顔溢れる日々を重ねていきますように、私は次の100年、その先の未来を見据え、県政を力強く、推し進めてまいります。末筆となりましたが、皆さまにとつて新しい年が健やかで実り多きものとなりますよう、心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

富士商工会議所  
**事業承継 専門家相談窓口**  
相談無料

毎月第2月曜日  
9:00-16:00

事前予約制  
経営相談課まで  
0545-52-0995

**ホームページ制作します!!**  
お客様の声 コミコミプラン

オシャレなデザインのホームページがほしい!!  
スマホにも対応!!

プラン内容  
デザイン  
TOPページ+3ページ  
お問合せフォーム  
写真撮影(半日)

実績はこちら

株式会社色八屋  
〒416-0947 富士市宮下159-15  
TEL 0545-61-8593

**三鷹深大寺特許事務所**  
特許庁審査官、民間企業知財部長の経験を持つ所長弁理士が対応!

特許・商標の出願・調査  
◇ 中小企業割: 手数料 20%OFF  
◇ 地元割: 手数料 10%OFF

090-8441-4241  
kawakami@mitaka-ip.com  
https://www.mitaka-ip.com

相談・見積無料

**家族っていいね!**  
車と家族と ずう~とずっとお付き合い



































家族が笑顔で乗る白いミニバン。子供たちが車内から荷物を取り出す様子。



# 新年のぞいを申し上げます























 井上建設 代表取締役社長 井上有之	 井出組 取締役顧問 井出正浩	 石井組 代表取締役社長 石井肇	 ユニプレス 常務執行役員 望月伸公	 丸石製作所 代表取締役社長 石川眞	 ポリプラスチック 富士工場 浅野史稔	 富士木材 代表取締役社長 川口祐介	 ビヨンス 代表取締役社長 大塚嘉章
 昭新紙業 代表取締役会長 奥野廣一	 川原崎康雄 代表取締役社長 川原崎康雄	 牧田子月 代表取締役社長 牧田桂輔	 エンチョー 代表取締役社長 遠藤秀男	 富士急静岡バス 取締役社長 斎藤俊之	 田子の浦埠頭 常務取締役 小泉明弘	 タカキュー 代表取締役社長 佐野寛	 平和建設 代表取締役社長 久保田貴久
 大ニ製紙 代表取締役社長 滝口陽子	 三菱製紙 富士工場 富士工場長代理 塚田英孝	一 号 議 員		 富陽軒 代表取締役社長 石井大介	 ハンザワ 代表取締役社長 半澤敏夫	 N.T.T.西日本 静岡支店 沼津営業支店 沼津営業支店長 中嶋真治	 西川正巳商店 代表取締役社長 西川元康
 富士アセチレン工業 代表取締役社長 望月康平	 ハリマ化成 富士工場 富士工場長 加藤裕一	 長谷川鉄工所 代表取締役社長 長谷川智基	 興和 富士工場 総務課長 佐藤尚	 ADEKA 富士工場 富士工場長 草野昭二	 丸井製紙 代表取締役社長 井出浩之	 林製紙 代表取締役社長 林浩之	 特種東海エコロジー 代表取締役社長 影山正樹
 船村興産倉庫 代表取締役社長 船村雅彦	 富士トラック 代表取締役社長 羽切和彦	 シンフジハイヤー 代表取締役社長 三澤賢治	 大村総業 代表取締役社長 等々力けい子	 保科リース 代表取締役社長 保科喜章	 富士測量事務所 代表取締役社長 杉山博	 中村組 代表取締役社長 池田光芳	 富士酸素工業 代表取締役社長 望月悠平











































<div><div>海野 幸男 代表取締役社長 (株)イーシーセンター</div></div>	<div><div>和久田 恵子 代表取締役社長 (株)ダイワ・エム・ティ</div></div>	<div><div>富田 宏朗 執行役員富士支社長 旭化成(株)富士支社</div></div>	<div><div>増田 正之 顧問 (株)ホンダカーズ中央静岡</div></div>	副 会 頭		<div><div>浅見 祐司 理事長 富士信用金庫</div></div>	会 頭		
<div><div>菅野 清貞 代表取締役社長 ACT・FK(株)</div></div>	常 議 員		<div><div>志村 晴彦 代表取締役会長 (株)志村商店</div></div>	<div><div>近藤 洋平 代表取締役社長 (株)近藤商店</div></div>	<div><div>鈴木 文三 代表取締役社長 サンコー防災(株)</div></div>	監 事		<div><div>古郡 英治</div></div>	専 務 理 事
<div><div>藤原 隆史 執行役員富士工場長 日本製紙(株)富士工場</div></div>	<div><div>山本 久也 代表取締役社長 紺屋製紙(株)</div></div>	<div><div>渡邊 直 代表取締役社長 (株)コーチョー</div></div>	<div><div>井上 淳 代表取締役社長 興亜工業(株)</div></div>	<div><div>久保田 雅則 代表取締役社長 (株)Kasuga</div></div>	<div><div>田中 数敬 富士工場長 王子マテリア(株)富士工場</div></div>	<div><div>加藤 由久 東海工場長 王子エフテックス(株)東海工場</div></div>	<div><div>井出 貴臣 代表取締役社長 イデシギョー(株)</div></div>		
<div><div>相馬 芳久 VP ジャトコ(株)</div></div>	<div><div>山田 昌宏 富士支社長 静岡ガス(株)富士支社</div></div>	<div><div>戸田 訓人 代表取締役社長 (株)小林製作所</div></div>	<div><div>勝 亦英夫 代表取締役 (株)かつまた</div></div>	<div><div>佐野 武男 代表取締役社長 丸富製紙(株)</div></div>	<div><div>渡邊 隆敏 取締役会長 フジゲン(株)</div></div>	<div><div>井出 篤志 代表取締役社長 富士共和製紙(株)</div></div>	<div><div>緑川 浩樹 原田工場長 日本製紙パピリア(株)原田工場</div></div>		
<div><div>高木 裕三 代表取締役社長 パーパス(株)</div></div>	<div><div>中村 哲也 執行役員 日本食品化工(株)富士本社</div></div>	<div><div>藤森 徹 富士事業所長 日本キヤリア(株)富士事業所</div></div>	<div><div>小林 公一 代表取締役社長 西山工業(株)</div></div>	<div><div>上柳 正仁 代表取締役会長 東名電機(株)</div></div>	<div><div>早川 幸輝 富士支社長 東京電力パワーグリッド(株)富士支社</div></div>	<div><div>杉本 一成 代表取締役会長 (株)東海電子ホールディングス</div></div>	<div><div>桶川 勇次 代表取締役社長 (株)スギヤマ</div></div>		



# 新年のぞいを申し上げます



 金 元泰 (株)京昌園 代表取締役社長	 新宮 恵介 (財)恵愛会 事務長 聖隷富士病院	 田村 彰祥 (株)キャリアドライブ 静岡県富士自動車学校 専務取締役	 加藤 修 庵原興産(株) 代表取締役社長	 坂本 忠久 スルガ銀行(株) 富士吉原支店 支店長	 武田 信之 (株)清水銀行富士支店 理事支店長	 伊藤 駿斗 アクサ生命保険(株) 富士営業所 所長	 榎 紀充 (株)東海むらせ 代表取締役社長
 齋藤 規夫 富士紙管(株) 代表取締役社長	三号議員		 鈴木 和彦 (株)プランニング富士 代表取締役社長	 高橋 孝行 (株)富士グリーンホテル高橋 代表取締役社長	 宮本 信勇 (有)東亜美装 代表取締役社長	 中西 正明 田子の浦漁業(株) 代表理事組合長	 高田 清太郎 (株)高田企画 代表取締役会長
 藤井 智彦 富士センター運輸(株) 代表取締役社長	 仲澤 修 富士電設(株) 代表取締役会長	 高木 義真 (株)高木不動産センター 代表取締役会長	 井出 克広 イデキョウホーム(株) 代表取締役社長	 増田 守克 (有)増田製作所 代表取締役社長	 橋本 季行 トヨーカラー(株) 富士製造所 取締役富士製造所長	 山下 英紀 大洋工業(株) 代表取締役社長	 中村 佳克 (株)セイコークリエイト 代表取締役社長
 長橋 房良 富士伊豆農業協同組合 富士地区本部 地区本部長	 滝本 雅治 コニカミノルタ静岡(株) 富士営業所 代表取締役社長	 田中 康久 (株)田中原料店 代表取締役社長	 小熊 圭図 (株)オグマ商会 代表取締役社長	 寺田 憲司 (有)フジビジネス 代表取締役社長	 吉野 好昭 (株)ヨシノロジコ 専務取締役	 山田 泰正 (株)山清倉庫 代表取締役社長	 望月 秀男 富士地区貨物 運送事業(株) 理事長
		富士商工会議所 職員一同		 大村 裕二	理事		 清水 和広
				参与		 杉本 圭 (株)ヤマキ 代表取締役社長	

 飯田 真一郎 飯田工業薬品(株) 代表取締役社長	 若月 正章 (有)わかつき 代表取締役社長	 渡邊 榮一 (株)山大園 代表取締役会長	 星野 茂 (株)星野新聞堂 代表取締役社長	 伊藤 高義 富士川まちづくり(株) 代表取締役社長	 鈴木 康弘 取締役会長	 佐野 裕一朗 (有)ひと津 代表取締役社長	 岩山 義昭 昭和油業(株) 代表取締役社長	 岩山 石油(株) 代表取締役社長
 井上 幹世 (株)ツクリズム 代表取締役社長	 鈴木 秀昭 (株)鈴木自動車 代表取締役社長	 内田 実 表富士観光(株) 代表取締役社長	 栗田 佳幸 (株)ミズバラエティー 代表取締役社長	 古谷 明寛 古谷商事(有) 代表取締役社長	 小林 充 富士中央青果(株) 代表取締役社長	 佐藤 俊秀 (株)サトー商事 代表取締役社長	 久保田 東 (株)サトー商事 代表取締役社長	 ゴードー 商事(株) 代表取締役社長
 岡本 賢二 三菱商事ライフサイエンス(株) 富士工場 富士工場長	 稲垣 哲豪 福泉産業(株) 代表取締役社長	 齋藤 泰章 齋藤食品工業(株) 代表取締役社長	 池田 大祐 (株)アトマックス 代表取締役社長	 望月 政光 富士スパイラル工業(株) 代表取締役	 植田 眞晴 植田産業(株) 代表取締役社長	二号議員		 志太 宙雄 (株)TOKAIケール ネットワーク富士支店 富士支店長
 田村 洋 田村電業(株) 代表取締役社長	 遠藤 哲也 静岡ホーチキ(株) 代表取締役会長	 小林 邦洋 (株)小林木工所 代表取締役社長	 鈴木 淳 (株)協和工務店 代表取締役社長	 遠藤 夏美 遠藤建設(株) 代表取締役社長	 強矢 到 エコフィールド(株) 代表取締役会長	 海野 和仁 (株)海野材木店 代表取締役社長	 井出 恭平 (株)井出建設(株) 代表取締役社長	 井出 徳建設(株) 代表取締役社長
 長田 邦夫 東陽紙業(株) 代表取締役社長	 池田 勝弘 (株)池田ネジ商会 代表取締役社長	 村方 順一郎 ムラカタ(株) 代表取締役社長	 前嶋 一及 (株)ホンダクリオ富士 取締役会長	 村瀬 貴彦 (有)花のむらせ 代表取締役社長	 奥田 壮一 岳南鉄道(株) 代表取締役社長	 佐藤 義幸 松本工業(株) 代表取締役社長	 遠藤 典生 (株)藤島組 取締役会長	 遠藤 典生 (株)藤島組 取締役会長

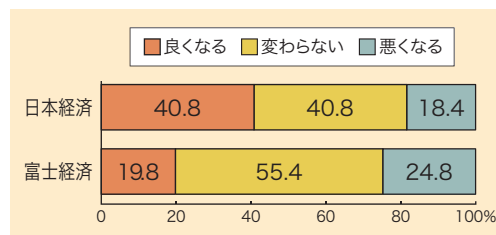
# 2026年 景気予測 富士商工会議所 役員議員・商工振興委員アンケート

【調査時期】2025年10月29日～11月30日 【調査対象】富士商工会議所 役員議員・商工振興委員 合計223名  
【調査方法】FAX・ネットによる送返信 【回答者数】157名(回答率)70.4%

## ◇ 2026年の景気見通し ～ 日本経済は回復の兆し、富士経済は停滞感が続く ～

2026年の景気見通しは、日本経済全般については「現在よりも良くなる」との回答が40.8%(昨年18.0%)、「変わらない」が40.8%(昨年59.0%)、「現在よりも悪くなる」は18.4%(昨年23.0%)。

富士地域経済については「現在よりも良くなる」との回答は19.8%(昨年11.5%)、「変わらない」が55.4%(昨年59.0%)、「現在よりも悪くなる」は24.8%(昨年29.5%)。日本経済は昨年の停滞感から回復期待へと転じたが、富士経済が追いついていない結果となった。

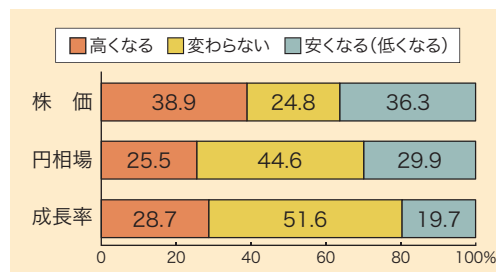


## ◇ 株価水準、円相場、経済成長率の見通し ～ 株価、円相場は見解が分かれ、経済成長率は変わらないと予想 ～

2026年の株価の水準(日経平均株価)は、「高くなる」が38.9%(昨年33.5%)、「変わらない」が24.8%(昨年39.9%)、「安くなる」が36.3%(昨年26.6%)となり、見解が分かれた。

円相場(対米ドル)については、現在の円相場に対して、「高くなる」が25.5%(昨年33.5%)、「変わらない」が44.6%(昨年28.5%)、「安くなる」が29.9%(昨年38.0%)となり、見解が分かれた。

経済成長率については、「高くなる」が28.7%(昨年19.0%)、「変わらない」が51.6%(昨年56.3%)、「低くなる」が19.7%(昨年24.7%)となり、昨年に比べて高くなるとの予想が若干増加となった。



## ◇ 今後の企業経営に関する懸念材料 ～ 「原材料及び仕入価格の動向」「労働力不足・コストの増加」を懸念 ～

今後の企業経営に関する懸念材料について、10の項目から懸念度の大きい順に4つまで選択していただいた。

最も回答が多かったのは、「原材料及び仕入価格の動向」80.3%(昨年79.1%)。続いて「労働力不足・コストの増加」79.0%(昨年73.4%)、「少子高齢化」34.4%(昨年40.5%)、「個人消費の低迷」33.8%(昨年31.0%)、「米国の政治・経済政策」31.2%(昨年61.4%)が続く。

「原材料及び仕入価格の動向」は昨年同様最も多く、コスト増への懸念が引き続き強い結果となった。また、「労働力不足・コストの増加」も増えており、人手確保や賃上げへの対応が課題として浮き彫りとなった。一方で、海外要因への警戒感はやや低下し、「個人消費の低迷」など国内需要への不安が高まっている。

## ◇ わが国が積極的に取り組むべき課題 ～ 「少子・高齢化対策」重視 ～

現在、わが国が積極的に取り組むべき課題を13の項目から重要度の高い順に4つまで選択していただいた。

最も回答が多かったのは、「少子・高齢化対策」63.7%(昨年68.4%)。次いで「物価高対策」53.5%(昨年なし)、「税制改革」47.1%(昨年34.8%)、「雇用・労働環境整備」33.1%(昨年27.8%)と「外交・安全保障」26.8%(昨年36.1%)が続いた。

少子・高齢化問題はわが国の最重要課題として挙げられた一方、「物価高対策」や「税制改革」への関心が高まり、物価や税の負担を和らげる措置を期待する声が聞かれた。また、「雇用・労働環境整備」も上位に入り、労働力不足への対応や働きやすい環境づくりが引き続き求められている。

## ◇ 富士商工会議所が優先的に取り組むべき課題 ～ 「若者の地元への定着」を強く期待 ～

今後、商工会議所が優先的に取り組むべき課題を12の項目から重要度の大きい順に3つまで選択していただいた。

最も回答が多かったのは、「若者の地元への定着」53.5%(昨年なし)となり、地域の人材確保や若年層の定着に向けた取り組みへの期待が高まっていることがうかがえる。次いで「行政への政策要望」44.6%(昨年48.7%)、「企業誘致・留置」43.3%(昨年41.8%)となった。

インフラ整備や地域振興に関する積極的な提言活動や行政との連携への期待は依然として高い。また、地域経済の活性化とあわせ、若者の就業機会確保に向けた取り組みを望む声が挙げられた。

『アンケートに御協力いただいた皆様方、大変ありがとうございました。』

## 令和7年度 富士貿易協議会

# 海外経済視察報告《タイ・バンコク》

【視察期間】 2025年11月23日(日)～26日(水)



富士貿易協議会では、海外市場の動向および日本企業の海外展開の実態を把握することを目的に、タイ・バンコクにて海外経済視察を実施しました。会長の近藤洋平氏(㈱近藤商店 代表取締役)を団長に、会員企業を中心とした9名が参加しました。

また、本視察にあたっては、清水銀行バンコク駐在員事務所所長の見城俊如氏に現地アテンドとして同行いただき、多大なご協力を賜りました。

——タイ経済の現状と主要産業の動向  
JETROバンコク事務所を訪問し、タイ経済の現状および今後の見通しについて説明を受けました。

2025年のGDP成長率は、前年と比較すると鈍化するものの、1.8～2.3%程度が見込まれています。消費動向ではサービス消費が堅調である一方、耐久財は低迷しており、鉱工業生産はマイナス幅が縮小傾向にあります。

主要産業では、観光業は外国人観光客数がコロナ禍前の約9割まで回復したものの、足元では前年比割れが続いています。自動車産業ではコロナ後の家計債務がGDP比で高止まりしており、自動車の国内販売台数が伸び悩んでいるほか、EV化の進展や中国メーカーの台頭により、日本車のシェアは低下傾向にあります。

——日本企業のためのテストマーケティング拠点

信金中央金庫が運営する施設「EN-MUSUBI」を視察し、日本企業向けの販路開拓支援について説明を受けました。

同施設は、2024年6月末に開業した常設型のテストマーケティング拠点で、日本商品のテスト販売や市場調査、SNS発信を通じて、現地消費者やバイヤーの反応を確認できる実践的な拠点として運営されています。

タイは親日的な国民性に加え、在留邦人数も世界屈指であることから、一定の日本製品の需要が見込まれる一方、食料品・日用品雑貨ともに競合は多く、他社商品との差別化が重要となっています。そのような環境の中で、同施設は地方の中小企業にとっても海外展開の第一歩として有効な場であると感じました。

——タイ人社員の特性を前提とした会社運営

自動車向けの内装部品を製造するFUJINAME(THAILAND) Co., Ltd.を訪問し、工場見学および現地経営に関する説明を受けました。

同社は2005年に設立された㈱富士ネームのタイ現地法人で、従業員約275名を擁し、製品の約6割を海外へ輸出しています。アジアの自動車市場の拡大に対応するため、JBIC(国際協力銀行)および清水銀行による協調融資を受け、グローバルな生産体制を強化しています。



富士ネームタイランドでの説明

日本人管理者は1名のみであり、「日本人が日本の常識で経営すること」が必ずしも正解ではないという考えのもと、タイ人社員が主体的に会社を運営できる仕組みを設計し、文化として定着させている点が印象的でした。

——まとめ

今回の海外経済視察を通じ、タイは依然として重要な市場である一方、競争環境は大きく変化しており、現地市場や人材を深く理解した経営が不可欠であることを再認識しました。

JETROによる経済動向の分析、EN-MUSUBIにおけるテストマーケティングの取り組み、富士ネームにおける現地経営は、富士地域の企業が海外展開を検討する上で、多くの示唆を与える内容でした。

### 【富士貿易協議会 入会のご案内】

富士貿易協議会では、海外展開や海外市場に関心をお持ちの皆様のご入会を随時受け付けております。

例会は、オブザーバー参加も可能ですので、ご関心のある方は下記までお気軽にお問い合わせください。

富士商工会議所 経営相談課 担当：前田  
TEL. 0545-52-0995



テストマーケティング拠点であるEN-MUSUBI

## 産学官キャリア 共育プロジェクト

# 吉工OBと「地元で働く」を語り合う 第5回「キャリアカフェ」を開催

主催：富士商工会議所・吉原工業高校

後援：富士市



東京電力パワーグリッド(株)富士支社

東京電力パワーグリッド(株)富士支社は、変電所の役割や各地域で繋いでいる変電所間での電気の流れ、日常業務などについて紹介しました。同校には電気情報工学科があり、日頃学習している内容から業務を想像しやすい様子で、関心を強く示していました。

荒川化学工業(株)富士工場は、会社概要や製品、製品の原材料に使われている松を保護する植林活動などについて説明しました。同校に

地元企業に就職した吉原工業高校の先輩と、仕事のやりがいや面白さ、入社を決め手や製品紹介などをカフェ形式で気軽に対話する「キャリアカフェ」を本年度も計8回開催します。

第5回目は11月19日(木)に、東京電力パワーグリッド(株)富士支社と荒川化学工業(株)富士工場が参加しました。



荒川化学工業(株)富士工場

はOBが31名在籍しており、社内では活躍している様子について話もされ、生徒たちは親近感を抱いているようでした。

第2部では、同社に所属する吉工OBを囲み、生徒と仕事のやりがいや現場のリアルな声などをカフェ形式で対話しました。生徒たちからは、入社してからの研修内容や取得できる資格やそれに対する支援などについて多く質問が挙がり、自身の働く姿を想像することができきる機会となりました。また、VR体験や水を利用したティッシュペーパーとトイレトペーパーの素材の違いを体験するなど、楽しみながら探究していました。

参加した企業からは、「高校生の生の声が聴ける貴重な機会であった」、「従業員がプレゼンに向けて協力する姿勢も見れた」と満足度の高い感想が得られました。

## 第235回日商珠算検定

# 1級合格者に合格証書を授与

去る11月27日(木)、日本商工会議所主催による第235回珠算能力技能検定試験の1級合格証書授与式を行いました。当日は、古郡専務理事より祝辞がのべられ、出席した合格者7名に合格証書と副賞の図書券が授与されました。



### 【1級合格者】

- 小畑 咲来さん  
(鷹岡中 1年)
- 塩谷 恵美さん  
(吉原小 5年)
- 高崎 日茉莉さん  
(吉原小 5年)
- 中川 綾乃さん  
(吉原小 6年)
- 佐野 陽音さん  
(富士第一小 5年)
- 田中 紗羽さん  
(富士第二小 5年)
- 大脇 円香さん  
(富士宮市立大富士小 3年)

そろばんは、計算能力が身につくだけでなく、物事を正しく処理する力も身につきます。またその処理能力を伸ばす過程で集中力や粘り強さも養われます。富士商工会議所では、そろばんで得られる効果を、地域の人材育成と子供達のチャレンジに寄与するよう奨励しています。

# 「見て学んで!富士ブランド工場見学ツアー」を実施

11月29日(土)に、富士ブランド認定事業所をバスで巡る「見て学んで!富士ブランド工場見学ツアー」を実施し、10組22名の親子に参加いただきました。

本ツアーでは、富士ブランド認定事業所の(株)田子の月、新橋製紙(株)、しらすの八幡を見学しました。

(株)田子の月では、どらやきやもなか等、菓子の製造工程を見学し、つぎたての餅ともなかの試食を楽しみました。

続いて訪れた新橋製紙(株)では、地球釜を使った古紙蒸解から抄紙・加工工程までを見学し、電子顕微鏡を用いたトイレットペーパーの繊維の観察や、様々な種類の紙の溶解実験を体験しました。

しらすの八幡では、名物のしらす井を楽しんだ後、しらすの加工現場を見学し、鮮度保持に



(株)田子の月



しらすの八幡



新橋製紙(株)

欠かせないマイナス28℃の冷凍庫にも入りました。

参加者からは、「古紙からトイレットペーパーになるまで多くの工程があつて驚いた」「顕微鏡観察が面白かった」「しらす井がフワフワで美味しかった」などの声が寄せられました。また、県外の参加者からは「また家族で富士市に来たい」という感想もいただきました。

富士ブランド認定事業所の見学を通じて市内外の皆様に、富士市の魅力と産業を身近に感じていただく貴重な機会となりました。

〈全国に富士市の魅力を発信〉

つけナポリタンがふるさと小包に!

富士つけナポリタン大志館と日本郵便(株)静岡県東駿河地区連絡会富士部会は、ふるさと小包の新商品「富士つけナポリタン」を開発し、10月から市内の郵便局などで販売を開始しました。11月6日(木)に同大志館と同部会が富士市役所を訪れ、新商品の完成を報告しました。



左から富士つけナポリタン大志館小川氏、小長井市長、大野部会長、大崎・勝又副部会長

新商品の開発は、同部会の大野直人

部会長から同大志館に、富士市のご当地グルメであるつけナポリタンをふるさと小包を通じて全国にPRしたいと相談があり、始まりました。大志館監修のレシピに基づき商品を開発し、麺を茹でスープを温めるだけで、元祖つけナポリタンの味を再現できる商品が完成しました。発売開始1カ月で1000個以上販売し、12月19日までの販売でしたが、好評につき2026年1月以降も再販される運びとなりました。

新商品の報告を受けた小長井市長からは「全国のご当地グルメのネットワークを介して、つけナポリタンは富士市のPRに大きく貢献していると感じる。この商品を通して富士市の魅力を全国に広げていってほしい」と激励の言葉をいただきました。

つけナポリタンの情報はこちらからご覧いただけます



© あしぎわまさと



富士つけナポリタン大志館ウェブサイト